

## 証拠説明書(11)

名古屋高等裁判所 御中  
(民事第2部)

2022年12月28日

控訴人(第一審原告)ら訴訟代理人

弁護士 山田 秀樹  
他

甲号証	標目	原本・ 写し	作成年月日	作成者	立証趣旨
32	特別高等警察執務心得	写し	1939年11月30日	内務省警保局	戦前の特高警察においては、合法的な社会運動に対しても「視察」という名の監視を秘密裡に行っていたこと、それが現在の公安警察の情報収集活動にも引き継がれていること

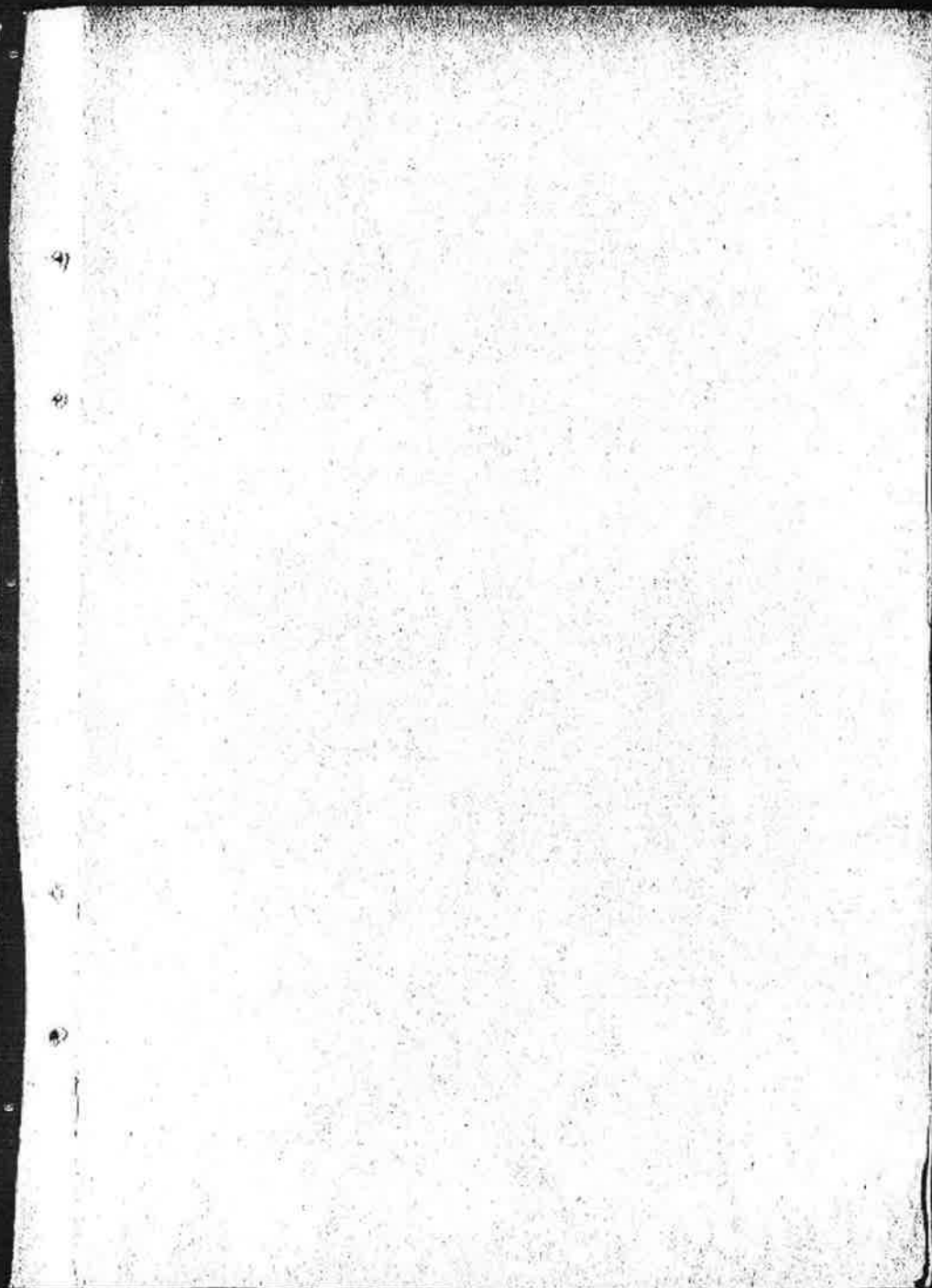
0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 2

昭和十四年十一月三十日

特別高等警察執務心得

国立公文書館	
分類	3 A
配架番号	15
	2-5

開館 30 周年



特別高等警察執務心得

2-5  
5

巖  
秋

SHIPPERS' RAFFLES  
SACK 2  
10/100

国立公文書館	
分類	② ③
配架番号	3 A
	15
	2-5

裏面白紙

内訓特高秘發第四八〇號

警 察 署

特別高等警察執務心得別冊ノ透相定メ昭和十四年十二月一日ヨリ之ヲ施行ス

右内訓ス

昭和十四年十一月三十日

長野縣知事 富 田 健 治

附 則

左ノ内訓及内示ハ之ヲ廢止ス

大正十五年十月一日内訓特高秘收第二三、六〇九號

勞働問題取扱内規

大正十五年十月一日内訓特高秘收第二三、六一〇號

學業等點問照取扱内規

大正十年十二月十三日高秘收第一二、五九九號

朝鮮人ノ觀察取締ニ關スル義ニ付内示

大正十一年四月十六日高秘收第三、九九一號

朝鮮人異動月報ノ義ニ付内示

大正十二年五月二十三日高秘收第五、五七二號

朝鮮人勞務者募集阻止ニ關スル件

大正十二年十一月十四日高秘發第一五三號

朝鮮人異動月報改正ノ件

大正十三年五月三十日高秘發第一三、三六二號

朝鮮人ノ内地渡航ニ關スル件

昭和二年九月十四日特高秘發第二三、四三三號

無產政黨取扱方ニ關スル件内示

昭和五年八月七日甲特高秘發第一七六號

天國教信者觀察方ノ件

昭和七年三月二十二日特收第一〇、七八二號

國家又ハ國民社會主義ヲ標榜スル團體ノ取締ニ關スル件

昭和九年二月一日特高秘發第六四號

朝鮮人留學生名簿作成ニ關スル件

昭和九年二月二十一日甲特高秘發第八、七二五號

内地在留朝鮮人戸數人員ニ關スル件

昭和九年六月二十三日特高秘發第三三五號

朝鮮人ノ犯罪等報告ニ關スル件

昭和九年七月三十日甲高秘發第一四八號

皇港大本敵義察ニ關スル件

昭和九年八月一日甲特高秘發第四四六號

在留朝鮮人名簿様式改正整備上觀察取締ニ關スル件内示

昭和十年二月八日特高秘發第一〇〇號

在留朝鮮人ノ觀察取締上一般狀況報告ニ關スル件

昭和十年三月十三日甲特高秘發第一八〇號

在業組合青年聯盟名簿調査ニ關スル件

昭和十年四月十二日特高秘發第二八〇號

右重要注意書名簿送付ニ關スル件

昭和十年六月十日甲特高秘發第三九九號

拘留又ハ檢束者等報告ニ關スル件

昭和十年十月三十日特高秘發第六七四號

右重要注意書者勸解觀察ニ關スル件

昭和十年九月七日特高秘發第五四八號

右重要觀察重要注意書勸解觀察ニ關スル件

昭和十一年五月二十二日甲特高秘發第二六五一〇號

備仰團體ノ演說取締ニ關スル件

昭和十一年五月二十六日甲特高秘發第三〇〇號

宗傳修養ノ通俗傳講ニ關スル件

昭和十一年七月二十一日甲特高秘發第二八二號

宗傳運動ノ動向調査ニ關スル件

昭和十一年八月八日甲特高秘發第四九、六〇〇號

類似宗傳團體冬際團體方ノ件

昭和十二年二月十八日甲特高秘發第九五號

集會取締ニ關スル件内示

昭和十三年八月五日甲特高秘發第九、五六七號

一時取締並ニ取締ニ關スル件

特別高等警察職務心得

第一章 總則

第一條 特別高等警察（以下特高等警察ト稱ス）ハ國家獨立ノ根本ヲ破壞シ若ハ社會ノ安寧秩序ヲ擾亂セムトスルガ如キ各種社會運動ヲ防止取締スルヲ以テ主タル任務トス

社會運動ニシテ合法範圍ナルモノハ國ヨリ之ヲ抑壓スベキニ非ズト課モ苟モ其ノ目的若ハ手段ニシテ違法ヲ干犯シ又ハ奇矯暴激ニ思ルモノニ對シテハ取締ヲ加フベキモノトス

第二條 各種社會運動ニ對シテハ非合法ノモノハ勿論、合法ノモノト雖モ常ニ周圍秘密ナル範圍ヲ加ヘ運動ノ因ヲ來ル所以ト其ノ實情トヲ明ニシ且繩エズ其ノ動向ヲ注意シ苟モ不法不軌ノ舉動ニ出ヅルノ餘地ナカラシムベシ

トベシ

第三條 各種事件ノ取締ニ當リテハ罪ノ真相ヲ究明シ實ニ流レズ以テニ決セズ懸切妥當ノ方法ヲ講ズルニ細心ノ注意ヲ拂ヒ一旦其ノ進行ニ當リテハ苟モ嫌疑遠慮スルガ如キコトナク毅然トシテ之ヲ所行スル處アルヲ要ス

第四條 視察ニ當リテハ取締ヲ要スベキ人物又ハ團體ノ認定ニ過誤ナキヲ期シ取締ヲ要スベキモノヲ審察範圍外ニ置セザルニ努ムルト共ニ其ノ必要ナキモノニ無用ノ視察ヲ加フルガ如キコトナキヤウ留意スベシ

第五條 視察ヲ行フガ爲メ職務ヲ妨ゲ或ハ無用ニ反感ヲ挑發シ却テ嫌疑ヲ惹起セシムルガ如キコトナキヤウ注意スベシ

第六條 特高等警察ニ從事スル者ハ常ニ國體ノ本意ニ副シ確固不拔ノ信念ヲ保持シテ其ノ任ニ當ルト共ニ專ニ職ミテハ率先躬ヲ挺シテ公ニ奉ズルガ

めくれず